

10月	11月	12月
01 金 ■指定校推薦試験 前期(専門高校対象)願書受付締切※実施学部/工・情・生 ■特別選抜願書受付締切※実施学部/芸 02 土 03 日 04 月 ■AO試験 後期エントリー受付開始(10月29日まで) ※実施学部/工・芸・情・生 ■就職ガイダンス④(芸) ■就職ガイダンス④(工) ■就職ガイダンス④(情・生) 05 火 06 水 07 木 08 金 09 土 ■指定校推薦試験 前期(専門高校対象)試験日 ※実施学部/工・情・生 ■特別選抜試験日※実施学部/芸 ■1年生対象キャリア形成 10 日 11 月 体育の日 12 火 ■就職ナビ講習会 13 水 ■バイオ製薬系合同企業説明会 14 木 ■企業説明会(4年生対象) ■指定校推薦試験 前期(専門高校対象)合格発表※実施学部/工・情・生 ■特別選抜試験合格発表※実施学部/芸 15 金 ■大運動会 16 土 17 日 ■テクノファンタジー 18 月 ■SPI講習会②(芸) ■指定校推薦試験 後期(全指定校対象)願書受付開始(10月29日まで) ※実施学部/工・情・生 ■指定校推薦試験 願書受付開始(10月29日まで) ※実施学部/芸 ■推薦試験(普通高校・専門高校)願書受付開始(10月29日まで) ※実施学部/工・情・生 ■専願推薦試験 願書受付開始(10月29日まで) ※実施学部/整備士・薬 ■一般推薦試験 願書受付開始(10月29日まで) ※実施学部/パイロット・芸・薬 19 火 ■SPI講習会②(工) 20 水 ■SPI講習会②(情・生) 21 木 22 金 23 土 ■第3回キャンパス相談会 ■TOEIC(IP)テスト ■1年生対象キャリア形成 24 日 25 月 ■一般常識テスト③(芸) 26 火 ■一般常識テスト③(工) 27 水 ■一般常識テスト③(情・生) 28 木 29 金 30 土 ■2年生対象キャリア形成① 31 日	01 月 02 火 03 水 文化の日 04 木 05 金 ■指定校推薦試験 後期(全指定校対象)試験日 ※実施学部/工・情・生 ■指定校推薦試験 試験日※実施学部/芸 ■推薦試験(普通高校・専門高校)試験日 [※試験日選択型・兼持待生選考]※実施学部/工・情・生 ■専願推薦試験 試験日※実施学部/薬 ■推薦試験(普通高校・専門高校)試験日 [※試験日選択型・兼持待生選考]※実施学部/工・情・生 ■専願推薦試験 試験日※実施学部/整備士 ■一般推薦試験 試験日※実施学部/芸・薬・パイロット 06 土 07 日 08 月 ■SPIテスト②(芸) 09 火 ■SPIテスト②(工) 10 水 ■SPIテスト②(情・生) 11 木 12 金 13 土 ■2年生対象キャリア形成② ■指定校推薦試験 後期合格発表※実施学部/工・情・生 ■指定校推薦試験 合格発表※実施学部/芸 ■推薦試験(普通高校・専門高校)合格発表 ※実施学部/工・情・生 ■専願推薦試験 合格発表※実施学部/薬・整備士 ■一般推薦試験 合格発表※実施学部/芸・薬・パイロット 14 日 15 月 ■自己分析(表現)②(芸) 16 火 ■自己分析(表現)②(工) 17 水 ■自己分析(表現)②(情・生) 18 木 19 金 20 土 ■井芹祭 ■第4回キャンパス相談会 21 日 22 月 ■自己推薦試験 前期願書受付開始(12月10日まで) ※実施学部/工・情・生 23 火 勤労感謝の日 24 水 ■合同企業説明会(4年生対象) 25 木 26 金 ■AO試験 後期願書受付開始(12月10日まで) ※実施学部/工・芸・情・生 27 土 28 日 29 月 ■一般常識テスト④(芸) 30 火 ■一般常識テスト④(工)	01 水 ■一般常識テスト④(情・生) 02 木 03 金 04 土 ■田原坂駅伝(予定) ■薬学部CBT実施日 05 日 06 月 ■エントリーシートテスト(芸) 07 火 ■エントリーシートテスト(工) 08 水 ■エントリーシートテスト(情・生) 09 木 10 金 ■自己推薦試験 前期願書受付締切 ※実施学部/工・情・生 ■AO試験 後期願書受付締切 ※実施学部/工・芸・情・生 ■第5回キャンパス相談会 ■TOEIC(IP)テスト 11 土 12 日 13 月 ■面接対策講座(芸) 14 火 ■面接対策講座(工) 15 水 ■面接対策講座(情・生) ■自己推薦試験 前期※実施学部/工・情・生 ■AO試験 後期※実施学部/工・芸・情・生 16 木 17 金 18 土 19 日 ■薬学部OSCE実施日 20 月 ■一般常識テスト⑤(芸) 21 火 ■一般常識テスト⑤(工) 22 水 ■一般常識テスト⑤(情・生) ■AO試験 後期合格発表 ※実施学部/工・芸・情・生 ■自己推薦試験 前期合格発表 ※実施学部/工・情・生 23 木 天皇誕生日 24 金 ■冬季休業(1月10日まで) 25 土 26 日 27 月 28 火 29 水 30 木 31 金

そうじょう
崇城大学 ★★
テクノファンタジー
2010 開催 科学やアートのおもしろさを体験しよう!
10月17日(日) 10:00~15:00

小学生から中・高校生、一般の方まで
誰もが科学で楽しく遊べるイベント
崇城大学テクノファンタジーには
おどろきや発見がいっぱい!

同時開催 入試相談会
お問合せは入試課まで
●Tel) 096-326-6810 (直通)
●E-mail) nyushi@ofc.soyo-u.ac.jp

9時45分から30分おきに
JR上熊本駅と崇城大学の間を
シャトルバスが運行

SOJO

崇城大学
SOJO UNIVERSITY

■工 学 部 機械工学科/ナノサイエンス学科/エコデザイン学科
建築学科/宇宙航空システム工学科<総合課程スカイエンジニアコース>
<専修課程航空整備士コース><専修課程パイロットコース>

■芸 術 学 部 美術学科/デザイン学科

■情 報 学 部 情報学科

■生物生命学部 応用微生物工学科/応用生命科学科

■薬 学 部 薬学科

■大学院工学研究科
<博士後期課程>応用情報学専攻(平成23年度開設予定)/機械システム工学専攻/
応用化学専攻/環境社会工学専攻/応用微生物工学専攻/応用生命科学専攻
<修士課程>応用情報学専攻(平成23年度開設予定)/機械工学専攻/応用化学専攻/
建設システム開発工学専攻/宇宙航空システム工学専攻/
応用微生物工学専攻/応用生命科学専攻

■大学院芸術研究科
<博士後期課程>芸術学専攻 <修士課程>美術専攻/デザイン専攻

SOJO 検索 http://www.soyo-u.ac.jp/

〒860-0082 熊本市池田4-22-1
TEL.096-326-3111(代表) FAX.096-326-3000
広報誌「かくふう」第57号 発行/2010年9月
崇城大学広報誌編集委員会・広報課(koho@ofc.soyo-u.ac.jp)

SOJO UNIVERSITY INFORMATION MAGAZINE

VOL.57 Autumn 2010

巻頭特集 Welcome to the SILC

A O 試験	後期	実施学部	■工学部 ■芸術学部 ■情報学部 ■生物生命学部
		エントリー受付期間	10月04日[月]～10月29日[金]
		願書受付期間	11月26日[金]～12月10日[金]
		試験日	12月16日[木]
		合格発表	12月22日[水]

指定校推薦試験	後期／全指定校	実施学部	■工学部 ■芸術学部 ■情報学部 ■生物生命学部
		願書受付期間	10月18日[月]～10月29日[金]
		試験日	11月05日[金]
		合格発表	11月13日[土]

推薦試験	普通校専門高校※2	実施学部	■工学部 ■情報学部 ■生物生命学部
		願書受付期間	10月18日[月]～10月29日[金]
		試験日	11月05日[金]・11月06日[土] (試験日選択型)
		合格発表	11月13日[土]

推薦試験	一般専願	実施学部	一般 ■芸術学部 ■薬学部
		願書受付期間	10月18日[月]～10月29日[金]
		試験日	11月05日[金] 薬学部(専願) 11月06日[土] 芸術学部・薬学部(一般)
		合格発表	11月13日[土]

自己推薦試験	前期	実施学部	■工学部 ■情報学部 ■生物生命学部
		願書受付期間	11月22日[月]～12月10日[金]
		試験日	12月15日[水]
		合格発表	12月22日[水]

自己推薦試験	後期	実施学部	■工学部 ■芸術学部※1 ■情報学部 ■生物生命学部
		願書受付期間	02月07日[月]～02月25日[金]
		試験日	03月04日[金]
		合格発表	03月11日[金]

一般試験	前期※3	実施学部	■全学部
		願書受付期間	01月07日[金]～01月25日[火]
		試験日	01月30日[日]・01月31日[月] (試験日選択型)
		合格発表	02月09日[水]

一般試験	後期	実施学部	■全学部
		願書受付期間	02月14日[月]～03月10日[木]
		試験日	03月14日[月]
		合格発表	03月19日[土]

大学入試センター試験利用試験	前期	実施学部	■全学部
		願書受付期間	01月07日[金]～02月01日[火]
		試験日	本学独自の試験は課さない
		合格発表	02月09日[水]

大学入試センター試験利用試験	中期	実施学部	■全学部(薬学部は中期日程に後期として実施)
		願書受付期間	02月14日[月]～03月11日[金]
		試験日	本学独自の試験は課さない
		合格発表	03月19日[土]

大学入試センター試験利用試験	後期	実施学部	■全学部(薬学部は中期日程に後期を実施)
		願書受付期間	03月15日[火]～03月22日[火]
		試験日	本学独自の試験は課さない
		合格発表	03月26日[土]

※1 自己推薦試験の芸術学部は後期のみ ※2 普通高校推薦・専門高校推薦は特待生選考を兼ねています

※3 一般試験前期は特待生選考を兼ねています(芸術学部を除く)

<工学部 宇宙航空システム工学科 専修課程>

A O 試験	後期	実施コース	パイロットコース
		エントリー受付期間	10月04日[月]～10月29日[金]
		願書受付期間	11月26日[金]～12月10日[金]
		試験日	12月16日[木]
		合格発表	12月22日[水]

推薦試験	一般・専願	実施コース	航空整備士コース(専願推薦)、パイロットコース(一般推薦)
		願書受付期間	10月18日[月]～10月29日[金]
		試験日	11月06日[土]
		合格発表	11月13日[土]

一般試験	前期	実施コース	航空整備士コース、パイロットコース
		願書受付期間	01月07日[金]～01月25日[火]
		試験日	01月30日[日]・01月31日[月] (試験日選択型、パイロットコースは30日のみ)
		合格発表	02月09日[水]

一般試験	後期	実施コース	航空整備士コース、パイロットコース
		願書受付期間	02月14日[月]～03月10日[木]
		試験日	03月14日[月]
		合格発表	03月19日[土]



■表紙アートは、2010年3月に芸術学部美術学科・洋画コースを卒業した長友光太朗(ながともこうたろう)さん(熊本県・鹿本高校出身)の作品「侵入」。最初に浮かんだイメージ、「魚眼レンズで見た和室」と古代魚「アロワナ」から描きはじめ、自由闊達に筆を進めた意欲作。「抽象的でいて具象的な世界観をあらわすため、細部は特に注力して描いた」とのこと。本格的な洋画創作は大学からであり「ひとつの作品を完成させることのハードさ」を痛感しつつ、達成感も大いに味わったよう。夏から司書資格の講習を受講しており「今後は図書館で働きながら洋画を描き続け、人々に感動や影響を与えられるような作品を残したい」と情熱的に語ってくれました。

CONTENTS

02 SPECIAL REPORT Welcome to the SILC

07 SERIES

8県人の発見[特別編]

09 A LABORATORY REVIEW

工学部 機械工学科 小野研究室

工学部 建築学科 村田研究室

11 NEWS

市民公開セミナーおよびサイエンスインターハイ@SOJOを開催
EE研が新しい宇宙衛星エネルギーシステムをJAXAと共同研究
文科省科研費新学術領域研究合同班会議で
上岡・松下両教授が講演
ゲスト授業に若手キュレーター遠藤水城氏を迎えて
平成21年度「ベストティーチング賞」を発表

12 TOPICS

建築バトル「つまようじ造構造物耐震コンテスト」を開催
応用微生物工学科生・大学院生が
西日本食品産業創造展2010で開発商品を紹介
デザイン学科展「SOJO DESIGN×KUMAMOTO」を開催
薬学部5年次生による実務実習中間報告会

13 SOJO AS IT IS

NHK大学ロボコン2010で特別賞を受賞

14 THE HISTORY OF PROFESSOR

情報学部 情報学科 青木振一 教授

15 ALUMNI

フンドーキン醤油株式会社 長野彩加さん
株式会社大本組 馬場慎太郎さん

16 THIS IS MY FAVORITE BOOK

心響の一冊

17 AUDIT 2009

平成21年度 決算・事業報告

18 INFORMATION

2010 同窓会総会
崇城大学専門学校からのお知らせ



SPECIAL REPORT

Welcome to the SILC*



*Sojo International Learning Center

※写真手前の3階建て棟が「SILC」です(奥の高層棟は中山義崇記念図書館)

英語が話せるエンジニアや薬剤師、芸術家やクリエイターの育成へ、
その拠点として2010年4月に「SILC」が開設されました。

専任の英語ネイティブ講師によるコミュニケーション重視の授業や、
楽しみながら英語力を身につけていけるようにゲームやマンガ、
カラオケやアニメなどのコーナーも揃えた施設のレポートを通じて、
「SILC」の素晴らしさや魅力をお伝えしていきます。

LESSON REPORT

授業紹介

英語が話せる 未来の自分に向けて “SILC”で学ぼう!!

英語でのコミュニケーションを楽しみながらレベルアップしていく“SILC”での授業では、英語を話す違和感から解放されます。取材時の授業は、学生2名がペアで3題（家族・趣味・週末の行動）について会話するスピーキング・テストの準備レッスンでしたが、教室には笑いもあふれ、誰もが楽しく“English Conversation”している様子は頼もしい限りでした。これらにラウンジでの日常的な英会話や自学・自習が加われば、英語が話せるエンジニアや薬剤師、芸術家やクリエイターになるのも夢ではないはずです。“SILC”を活用した卒業生らが近い将来、国際的な学会などで堂々とスピーチする姿が目に見えます。



Aero Class

●アリン・ロジャー（Alun Roger）講師と木下陽子（Yoko Kinoshita）助教によるチームティーチング・クラスと、ピーター・リー（Peter Lee）講師によるクラス、2つのクラスにわかれて行われた工学部・宇宙航空システム工学科1年次生（総合課程スカイエンジニアコースと専修課程パイロットコースの混成）のための授業。発言するほとんどの学生に「Good!!」の声かけられ、それが皆の自信になっていく。



Voice



入学前は英会話学校に通うつもりでした

Shinya Kato

工学部・宇宙航空システム学科（専修課程パイロットコース）1年次生
加藤真也／岐阜県・麗澤瑞浪高校出身

●エアラインのパイロットをめざす僕にとって高度な英語力は必須のスキル。だから入学後は課外で英会話学校に通うつもりでした。でも入学すると“SILC”という素晴らしい環境があってびっくり。「CONVERSATION LOUNGE」に通う毎日過ごしています。先生たちとのコミュニケーションも楽しく、おかげで英語力も伸び、将来への自信も芽生えてきました。



高度な英語力を身につけてパイロットになります!!

Taichi Aoki

工学部・宇宙航空システム学科（専修課程パイロットコース）1年次生
青木太一／福岡県・東筑紫学園高校出身

●入学当初は英語ネイティブの先生の話はヒアリングすることに懸命でしたが、ある時期を過ぎると会話の内容が理解できるようになって驚きました。実際“English Only”の授業は楽しいばかり。パイロットになるためのステップとして“SALC”を活用、自学・自習に取り組むことで高度な英語力を身につけ、目標を実現しようと思っています。

Eco & Arch Class

●ジョナサン・ローベリー（Jonathan Rowberry）講師、メリタ・グラトウィック（Melita Gratwick）講師、ピーター・リー（Peter Lee）講師、3名による各クラスは工学部のエコデザイン学科と建築学科の混成授業（共に1年次生）。講師も学生も互いにファーストネームで呼びあうなど、全員が英語によるコミュニケーションの楽しさを満喫していた。



Voice

英語への苦手意識がなくなりました

Chihiro Fujisue

工学部・エコデザイン学科1年次生
藤末千紘／熊本県・有明高校出身

●将来は子どもたちへ環境保全に関する指導がしたいと思っています。但し環境保全についての先進的な事例は海外にも多く、その研究や情報収集には英語力が必要。だから中学・高校と英語が苦手だった私にとって、“SILC”は本当にありがたい存在。楽しく愉快的な授業を通じて今では苦手意識もなくなり、今後への期待も高まるばかりです。



海外フィールドワークという夢を抱くようになりました

Makiko Kitamura

工学部・エコデザイン学科1年次生
北村万記子／熊本県・八代白百合学園高校出身

●入学当初「理系の私たちが……」って感じて、“SILC”に戸惑ったのは事実です。でもゲームを交えた授業などを通じて英語にも慣れ、今は“使える英語”を身につけたい気持ちでいっぱい。最近では英語ネイティブの先生の話もヒアリングできるようになっており、“海外でのフィールドワーク”という夢を抱くようになりました。



最初は“英語を話す自分”に違和感を覚えたけれど

Yoshikazu Noda

工学部・建築学科1年次生
野田佳和／宮崎県・都城泉ヶ丘高校出身

●「建築家としての活躍に英語力が必要?」。そう思い込んでいた僕でしたが、考えてみると活躍の場を日本に限定する必要はないわけです。また授業で“英語を話す自分”に違和感を覚えたのは最初だけ。卒業するまでに世界を旅し、さまざまな建築にふれて見聞を広げたいと思うようになり、今後は“SILC”をフル活用するつもりです。



“SILC”には 英語を楽しく学ぶ 施設がいっぱい!!

NAVIGATORS

Kyoshiro Zoza & Yuki Kaneko

「バイオ・エンジニアになりたい」という生物生命学部・応用微生物工学科1年次生の蔵座京志郎くん(熊本県・熊本工業高校出身)と「イラストレーターをめざしている」という芸術学部・デザイン学科1年次生の金子優希さん(福岡県・太宰府高校出身)。どちらも入学時、思ってもみなかったほど実践的な英語の授業や施設の充実に戸惑ったそうですが、今ではすっかり“SILC”が大好き。そんな二人をナビゲーターに、“SILC”の魅力を紹介しましょう。

ようこそ“SILC”へ!!

01_SILC CAFÉ (1F)

●明るく開放的な1階エントランスホールの名称は「SILC CAFÉ」。このエリアだけは日本語の使用OK!!(他は“English Only”です)であり、ドリンクやフードも持ち込め、“SILC”に親しみかけの場として使ってほしいスペース。自分のパソコンを持ち込み、無線LANに接続できるコーナーもあります。二人が話しているのはデイビッド・ボレン(David Bollen)講師。



英語のゲームも楽しめる交流の場

02_CONVERSATION LOUNGE (M2F)

●正午から18時までの間、講師が待機しており、テレビゲームやボードゲームなどしながら英会話を楽しむことのできる「CONVERSATION LOUNGE」。英語に慣れて、気づけば話せるようになるラウンジです。



SALC

Self-Access Learning Center (2F)



受付も“English Only”です 03_SALC COUNTER

●“SILC”のコアとなるのが“SALC (Self - Access Learning Center)”であり、テーマは英語の自学・自習を支援すること。次から紹介するさまざまなエリアやブースがあります。英語を話す機会を多くもつため、このカウンターも“English Only”。日本人スタッフにも英語で話しかけるようにしてください。



自分のレベルにあわせて教材が選べる 05_GROUP ACCESS AREA

●英語の学修教材が揃うエリア。各教材には4レベル4色(High_Red / Middle_Blue / Low_Green / Starter_Yellow)のシールが貼られており、自分の英語力にあわせて選べます。



完全防音の個室で発音練習 06_SPEAKING BOOTHS

●コンピュータの指示や音声にあわせ、一人で発音練習するためのブース。完全防音の個室だから、なにも気にせず大きな声で練習できます。



英語ならカラオケだってOKです 07_MULTI PURPOSE ROOMS

●“MPR”の通称で親しまれている多目的のルーム。飲食はNGだけどカラオケボックス感覚で仲間と集えます。



楽しい企画で自由に活用 08_GALLERY

●アートの作品発表にも、ミニライブにも、部活やサークルのPRにも、学生が自由に使えるスペースです。



こんなところも “English Only”

●設置されているパソコンのOSが英語版なもの“SALC”ならではの、これに慣れておけば、海外での情報や資料の入手に役立ちます。

この他、3階には“Blended Learning Space (BLS)”とネーミングされた教室が5室あり、コミュニケーション重視の授業が行われています。



英訳されたマンガも揃う

04_READING AREA

●英文の小説はもとより、英訳された日本のマンガも揃うエリア。ソファでゆったり読むのも良いし、貸出(1人6冊2週間まで)利用でじっくり楽しみながら英語にふれることもできます。マンガにはストーリーを知っている有名作品が多くて“すらすら”読めます。



英語吹替えの日本のアニメが楽しい

09_EDUTAINMENT BOOTHS

●教育(Education)と娯楽(Entertainment)を合わせた造語“EDUTAINMENT”の名称が示しているように、字幕なしの英語版DVDを観ながら英語力を高めるブース。台詞が英語吹替えの日本の映画やアニメもあり、「英語ではこう言うのか」といった感じで勉強になります。



自学・自習についてアドバイス

10_ADVISING ROOMS

●英語の自学・自習について、マンツーマンでアドバイスを受ける部屋。金子優希さんが相談しているのはスコット・クロウ(Scott Crowe)講師。



SILC Director
Jonathan Rowberry

Message

世界で活躍する未来に向けて 楽しみながら“使える英語”を身につけていきましょう

●あらゆる分野でのグローバル化が進む今、エンジニアや薬剤師、芸術家やクリエイターにも英語力は不可欠です。また“英語が話せない”ことで活躍の場が限られてしまうのは、とても惜しいことです。
●しかし本学の学生たちに“英語を身につけたい”と欲している人が多くないのも事実かもしれません。そのため私たち“SILC”の講師は日々の授業や交流を通じて、まずは英語に慣れてもらい、英語でコミュニケーションすることの楽しさを感じてもらい、学ぶ意欲を高めることに努めています。
●英語は決して難しい言語ではありません。スペシャリストとして世界で活躍する未来に向けて、私たちと一緒に楽しみながら“使える英語”を身につけていきましょう。

ジョナサン・ローベリー講師/イギリス(ロンドン)出身。ロンドン大学教育学部で「英語を母語としない者への英語教授法」を専攻、「MA in TESOL」を取得。神田外語大学での教育実践を経て本学に。
*Master of Arts in Teaching English to Speakers of Other Languages(英語を母語としない者への英語教授法の修得を認定する学位)

はっけんじんの はっけん

8県人の発見 特別編

九州・沖縄8県出身の学生たちが崇城大学での出会いや
学びから見つけた夢や目標を紹介してきた「8県人の発見」。
今回は北海道から韓国にまで地域を広げた“特別編”として、
国内外8名の発見を紹介します。



岳風に登場したい!!
協力したい!!
そんな学生を募集しています。
友だちを誘って気軽に
広報課(本館4階)を
訪ねてください。
お待ちしております(担当/松永)。



series_06@01
北海道民

生物生命学部 応用生命科学科3年次生
小林 綾香さん
北海道 室蘭大谷高校出身

●出身地の北海道を離れ、気づけば3年が過ぎました。入学当初は熊本の気候や習慣等のちがいに戸惑うこともありましたが、その“ちがい”がよい経験になりました。今では未知の熊本にきたことをとても良かったと思っており、卒業までの残り少ない時間を大切にしたい気持ちでいっぱいです。

思いきって
熊本へ来て
よかった!!

series_06@02
福島県人

情報学部 情報学科1年次生
三浦 拓人くん
福島県 白河高校出身

●故郷から勇気をもって飛び出したことで、さまざまな人々との出会いや経験に恵まれました。また、それを通じて、どんなことにもぶつかってみることの大切さも知りました。たった一度の学生生活、楽しまなきゃソンですからね!!

さまざまな人々との
出会いや経験に
恵まれました

series_06@05
京都府民

工学部 エコデザイン学科4年次生
神谷 尚志くん
京都府 桃山高校出身

●さまざまな出会いやイベントへの参加、経験を通じて味わった感動や挫折。いろんな物事に対する考えなど、崇城大では多くのことを吸収しました。今後も誰にも負けないフットワークの良さを活かし、新しいことにチャレンジしていきたいと思っています。

“動くこと”
その大切さを
学びました

series_06@06
山口県人

薬学部 薬学科3年次生
芝田 紀恵さん
山口県 宇部鴻城高校出身

●入学当初はいろいろ不安でしたが、素敵な友だちや先輩方に会えることができ、毎日楽しく過ごしてきました。また先生に質問に行くと丁寧に教えていただけますし、挫折する時は友人たちの励ましのおかげで頑張ることができます。この大学に入学でき、心から良かったと思っています。

感謝×5!!

series_06@03
群馬県人

工学部 宇宙航空システム工学科
航空整備士コース4年次生
稲木 高太くん
群馬県 桐生高校出身

●航空整備士になりたいとの思いで群馬から熊本の崇城大に入学しました。もちろん不安もありましたが、寮では同じ目標をもつ仲間たちと充実した毎日を過ごすことができ、二等航空整備士の資格も取得できました。今後は一等航空整備士の資格取得に向けて、努力し続ける覚悟です。

熊本に来たことで
二等航空整備士資格が
取得できました

series_06@04
長野県人

生物生命学部 応用微生物工学科4年次生
田中 謙一郎くん
長野県 須坂園芸高校出身

●高校で生物工学系の勉強をしたことをきっかけに、微生物について深く学びたいと考え、著名な教授が多くおられる崇城大に進学しました。また故郷の長野から遠く離れてみるのも良い経験になると思い、とても充実した学生生活を得ることができています。

故郷の長野から
遠く離れてみるのも
良い経験でした

series_06@07
愛媛県人

芸術学部 美術学科4年次生
松田 遼太くん
愛媛県 吉田高校出身

●卒業制作に取り組むようになってから、この3年間で経験したことを振り返る機会が多くなりました。そのため、周囲の友人や家族の支えがあったこそ、慣れない熊本で頑張ることができたとあらためて実感しています。これからも感謝の気持ちを忘れず、制作を頑張っていきます。

周囲の支えのおかげで
慣れない熊本の地で
頑張ることができた

series_06@08
韓国人

工学部 建築学科4年次生
金 亨洙(キムヒョンス)くん
韓国 全羅北道 高敞(コチャン)郡
高敞(コチャン)高校出身

●年齢のこともあり、新しい環境にワクワクしたり、心配することはありませんでした。しかし今になって思うと、その余裕すらなかったような気がします。とはいえ同級生たちと過ごす時間は楽しく、とても良い留学になりました。おかげで熊本での就職もあと一歩。決まれば熊本県人になった気分で働きます。

熊本での就職が
決れば気分は
熊本県人!!

金属材料の変形と強さの結晶学的メゾ解析により ハイテク素材に潜む機能の有効活用法を探求

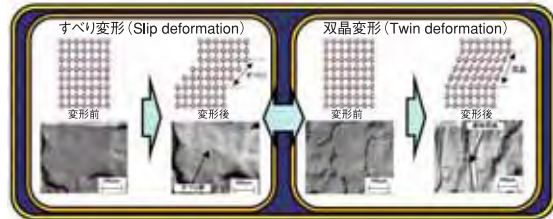


工学部
機械工学科
小野研究室
●指導教員／小野長門 教授 工学博士
●専門分野／金属工学
(機械材料・材料力学)

学生にきく

●安全で耐久性に優れた乗物や家電などの開発には、適切な材料選定が不可欠です。例えばハイブリッド自動車や液晶テレビ、携帯電話を製作するにはネオジウムやインジウム、ニッケル、チタンなどのレアメタル（希少金属31種類の総称）が必要です。しかし、これらは枯渇の危機にあり、レアメタルの確保と3R（リデュース・リユース・リサイクル）技術の発展は重要な国家戦略の1つと言えます。

●当研究室では、新素材の創製や材料加工の技術開発に不可欠な基盤金属の変形と強さに関する研究を行っています。現在、実用金属で最も軽く、リサイクル性や電磁遮蔽性等もよく、循環型超軽量金属として注目されているマグネシウムとそのAZ系合金の変形メカニズムについて、マクロとミクロ変形の結びつきを考慮して実験解析し、すべりと双晶出現の法則性を追及しています（図1・図2）。



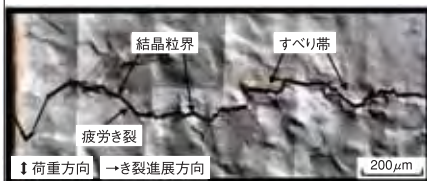
●図1 変形したマグネシウムの表面結晶粒に現れるすべり帯 ●図2 マグネシウムの表面結晶粒における変形双晶

●また、繰返し荷重下におけるマグネシウム合金の疲労破壊挙動の微視機構を結晶学的に明らかにしています（図3）。さらに、マグネシウム合金より強い高力アルミニウム合金の強化機構、ならびに降伏強度に寄与する強化因子を結晶塑性学的立場から定量評価しています。

●金属の物性的基礎実験を行う中で、形状記憶材料として利用されているニッケル-チタン合金の安定した変形・疲労特性に注目。その逆変態応力を機械装置等の動力源に変換するアクチュエータ設計（モータのようにエネルギーを動力に変える機関の総称）の研究も行っています。

従来の常識を破るこのハイテク合金は成形後に変形しても、温度や磁力をコントロールすることにより元の姿に戻ります。通常の金属のすべり変形に対し、この変形の仕組みは図2に示す双晶形成と関係があります。

●今後、アイデア次第で省エネに繋がる形状記憶合金は小型でも高付加価値の医療用精密機器、低コストで大型化をめざす建築分野等への応用が期待されています。このような金属に潜む優れた機能を新しい製品開発に活かしつつ適用範囲を広げるには、女性の視点も必要です。夢を実現させる“モノづくりロマン”を体感したい当研究室では、動力源にもなる形状記憶合金の有効活用法について飽くなき探求を続けます。



●図3 焼入れたAZ61マグネシウム合金における疲労き裂進展の様相

この1年の主な活動

- 2009年7月、カナダの首都オタワで開催された第12回「材料の破壊に関する国際会議」で「AZ系マグネシウム合金の疲労挙動に及ぼす粒径と時効の影響」について講演発表。
- 2009年9月、鹿児島大学での「日本材料学会九州支部講演会」で招待講演。
- 2009年10月、日本材料学会「材料」に論文（英文）掲載。
- 2010年2月、「日本金属学会誌」に論文掲載。
- 2010年5月、北海道大学で開催された第59期日本材料学会で「純マグネシウムにおける低温圧縮変形とHall-Petch関係」について講演発表。

自身の研究テーマは？

●「析出強化型軽金属材料の変形と疲労挙動に関する結晶学的研究」です。省エネが強く求められる今、社会のニーズに応える循環型軽金属材料の開発はとても重要です。そこで有用な基盤軽金属のアルミニウムとマグネシウムに注目。これら合金の変形と疲労メカニズムを結晶学的立場から明らかにし、次世代に期待される工業材料の機械特性や加工技術の問題解決に貢献したいと考えています。

研究室の雰囲気は？

●明るく笑顔の絶えない楽しい研究室です。みんな仲よく、助け合いながら研究しており、「やるときは夜遅くまで徹底して実験する」といったメリハリが自慢です。

小野教授はどんな先生？

●「ユニークな熱血漢」です。勉強だけでなく、防衛庁時代の体験や家族のことまで、おもしろおかしく話してくれます。但し教育や研究に関しては常に真剣。温かく丁寧に指導いただくおかげで、充実した研究生生活が過ごせています。



大学院 修士課程
機械工学専攻1年次生
西山 徹さん
熊本県 宇土高校出身

MURATA Laboratory



工学部 建築学科
村田研究室
●指導教員／村田泰孝 助教 博士（工学）
●専門分野／建築環境工学（熱・空気）
建築設備

学生にきく

各種省エネルギー技術の室内環境改善および 省エネルギー効果の簡易評価法について研究

●当研究室のテーマは「各種省エネルギー技術の室内環境改善および省エネルギー効果の簡易評価法に関する研究」です。建築物の省エネルギー技術は近年、急速に進歩しています。その技術を実際の建物に適用した場合、建物周辺の環境や気候、建物の用途などのちがいに、効果は違ってきます。

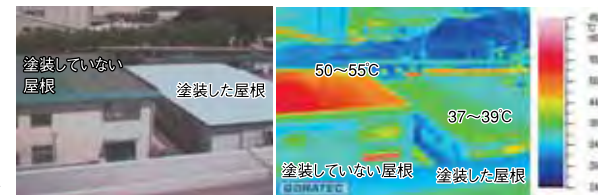
●そのため、一般的には実測や理論計算を行い、評価することになります。しかし実測やシミュレーションを行うには、ある程度の専門知識が必要になりますから、建物の設計者や施主にとって、わかりやすいものではありません。そこで、いろいろな理論計算と実測結果をもとに、ある程度の精度を維持しながらも簡易に省エネルギー技術の効果を評価する方法を検討しています。

●ここ数年は高反射率塗料と呼ばれる塗料を屋根に塗装することによる効果測定を行っています。この塗料は、見た目は普通の塗料と同じなのに日射反射率が高い塗料です。日射反射率が高いため、屋根から室内に入ってくる熱を減らすことができ、冷房の省エネルギーや冷房のない建物の室温を下げる効果が期待されています。

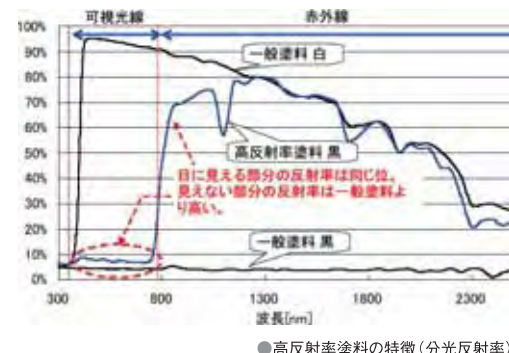
●この塗料は目に見えない近赤外線の反射率が高いことが特徴なのですが、見えない部分に特徴があるため一般の人には効果を実感することが難しい場合があります。そこで、この塗料を塗装した物件の日射反射率の簡易評価法の研究や実際の建物での測定と効果検証を行っています。

●この他、大学のエネルギー消費のデータを分析し、どのような省エネルギーの方法があるかを検討する研究、エアコンの電力消費と室内環境を測定し省エネルギーに配慮したエアコンの運転方法はどのようなものであるかを検討する研究、窓ガラスに遮熱フィルムを貼ることで窓から入ってくる日射がどの程度減少するのか、それによりどの程度の省エネルギーが期待できるかの検討にも着手したところです。

●高反射率塗料や遮熱フィルムのように、夏の日射を建物に入りにくくする省エネルギー技術では、冬に日射を活用して暖房を減らすことが難しくなるため、夏、冬を通じた効果の検討を行う必要があります。夏は暑い中での測定を行い、冬は卒業論文をまとめながらの測定となるので学生にとっては非常に大変だと思いますが、それぞれの省エネルギー技術がもたらす効果と影響をきちんと評価し、一般の人が理解しやすいようにすることが大切なことであると考えています。



●実物件での熱画像による屋根表面温度の比較



自身の研究テーマは？

●高反射率塗料という一般塗料よりも日射反射率の高い塗料を実際の建物に塗布し、それによる室内温熱環境の改善効果や冷暖房用電力の省エネルギー効果を測定、評価する研究を行っています。

研究室の雰囲気は？

●自由な学生が集まっていますが、やる時はしっかりやり、遊ぶ時は全力で遊ぶというスタイルです。誕生日会などもあり、親交を深めながら楽しんでいます。

村田助教はどんな先生？

●研究も遊びも常に全力で取り組むのが村田スタイル。そんなスタイルの先生だからこそ、学生もののびのびとエンジョイできるのだと思います。「まだまだ若い奴には負けたい」とおっしゃり続ける、現在36歳の先生です。

この1年の主な活動

- 日本建築学会「クールルーフ評価・推進小委員会」委員として各種ヒートアイランド対策技術、省エネルギー技術の評価方法を確立や適正な利用方法についてのガイドライン作成に携わる。
- 2010年5月10日、「高反射材料の新展開」の「第4編 第3章 高反射率塗料の現場での性能評価」を執筆、出版された（シーエムシー出版）。
- 2010年6月11日、「ヒートアイランド対策と効果検証シンポジウム2010」にて講演。
※主催／高反射率塗膜の現場における効果検証研究会
※後援／環境省 大阪府ヒートアイランド対策技術コンソーシアム 日本塗料工業会 日本塗料検査協会

市民公開セミナーおよびサイエンスインターハイ@SOJOを開催

7月31日、本学にて「市民公開セミナーおよびサイエンスインターハイ@SOJO」が開催された。当日は高校生、高校教諭を中心に300名を超える参加があり、ナノ領域研究で著名な講師による講演会では高校生たちが熱心に聴講、講演者をうならせるようなレベルの高い質問もあった。また高校生によるポスター発表では、驚くほど内容の濃い研究を積極的な姿勢で発表しており、成果発表の場としてのみならず、相互交流の場として意義深いものとなった。最後まで参加者の熱気に包まれ、本セミナーは大盛況のうちに閉会した。

※ポスター発表受賞校など本セミナーの情報はRENSホームページに掲載 (<http://www.nano.sojo-u.ac.jp/support/top1.html>)

EE研が新しい宇宙衛星エネルギーシステムをJAXAと共同研究

情報学科エネルギーエレクトロニクス研究所 (EE研) の中原研究室が「宇宙衛星における新しいエネルギーシステムの開発」をテーマに、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) と共同研究を昨年度から開始している。太陽電池の高速最大電力追跡アルゴリズムの開発から始まり、宇宙衛星や宇宙ステーション用のスマートグリッド (賢い電力網) システムの構築をめざし、今年度も継続して行っている。なお、この研究はEE研で開発されたスマートグリッドシステム技術を用いて、宇宙衛星用の新しいエネルギーシステムを構築することを目的としている。



衛星イメージ：提供 池下章裕

ゲスト授業「アートをやるって、なんだろう？」若手キュレーター遠藤水城氏を迎えて

7月6日、アートマネジメント論 (美術学科2年次前期授業) でのゲスト講義が遠藤水城氏を迎えて行われた。遠藤氏はインディペンデント・キュレーターとして海外に滞在され、「ヨコハマ国際映像祭2009」なども手懸けられ、2005年には若手のキュレーターに贈られる国際賞「Lorenzo Bonaldi Art Prize」を受賞されている。これまでのキュレーションや今後の可能性を地方 (熊本) の実情にも寄せながら語っていただいた。学生たちにはとても刺激的な内容だったようで、今後も交流を深めていきたい。



は若手のキュレーターに贈られる国際賞「Lorenzo Bonaldi Art Prize」を受賞されている。これまでのキュレーションや今後の可能性を地方 (熊本) の実情にも寄せながら語っていただいた。学生たちにはとても刺激的な内容だったようで、今後も交流を深めていきたい。



文科省科研費新学術領域研究「揺らぎと生体機能」第2回合同班会議で上岡教授と松下教授が講演

文部科学省科研費新学術領域研究「揺らぎと生体機能」第2回合同班会議 (領域代表：寺嶋正秀京都大学教授) が6月27日から30日の間、石川県片山津で開催された。全国から42名の先端研究者が集まり、最新の研究成果を発表した。特に生物生命学部・応用生命科学科の上岡龍一教授 (A03班長) の「がん細胞膜の揺らぎ」を標的とした新しい制がん剤の研究に対して、分野を超えた多くの班員間での共同研究が進行しつつあり、活発な議論が行われた。また同学科の松下教授も「テロメアDNAの揺らぎ」について講演を行った。



がん細胞膜の揺らぎ」を標的とした新しい制がん剤の研究に対して、分野を超えた多くの班員間での共同研究が進行しつつあり、活発な議論が行われた。また同学科の松下教授も「テロメアDNAの揺らぎ」について講演を行った。

平成21年度「ベストティーチング賞」を発表

7月1日、平成21年度「ベストティーチング賞」が発表され、同授与式が本館6階・学術講演会場にて行われた。これは工学部、芸術学部、情報学部、生物生命学部の教員を対象にしており、授業アンケートの結果、次の6名が選出された。

前期

- 松下琢／化学I①
- 尾崎昭剛／特別講義I
- 柿塚純男／人間と教育I
- 上岡龍一／自然共生人類学

後期

- 松下琢／化学II①
- 和泉信生／応用JAVAプログラミングA
- 村田泰孝／建築設備II



(写真左から尾崎、松下、中山学長、上岡、柿塚、村田) 敬称略

建築バトル「つまようじ造構造物耐震コンテスト」を開催

6月24日、「つまようじ造構造物耐震コンテスト2010」が開催された。これは学生が2人1組で「つまようじ」と木工用接着剤のみで85g以内の構造物を製作、2箇所におもりを乗せて振動を加え、その耐震性を競うコンテスト。19組が競技に参加し、多数の観客の歓声と共に白熱したバトルが繰り広げられた。今年度はおもりの重さ (約8kg) に耐えた工学部・建築学科3年次生の林浩平くん (熊本県・済々黌高校出身) と古庄正卓くん (熊本県・真和高校出身) ペアが優勝し、昨年準優勝の雪辱を果たした。



応用微生物工学科の学部生・大学院生が「西日本食品産業創造展'10」で研究室開発商品「ぱーぷる」を紹介

5月19日から21日の3日間、第20回記念「西日本食品産業創造展'10」がマリンメッセ福岡にて開催され、産学官共同研究により誕生した機能性食品の紹介を目的としたコーナーにて、応用微生物工学科の食品生物科学講座 (寺本祐司教授・三枝敬明准教授および卒研究生) が開発商品「ぱーぷる (紫サツマイモの発酵醸造酒)」を紹介した。学部生・大学院生も「ぱーぷる」の紹介を通じて、多くの参加者とふれあうことができ、とても有意義な3日間であった。



崇城大学ギャラリーにてデザイン学科展「SOJO DESIGN × KUMAMOTO」を開催

芸術学部・デザイン学科は、地域性を意識したコンテンツ制作を組み込んだカリキュラムにより、科学とアートの融合をめざしている。6月11日から7月11日まで、熊本市内の崇城大学ギャラリーで行われたこの展覧会は「SOJO DESIGN」がコンテンツとしての「熊本」からどのような題材を取り上げ、デザインのプロジェクトとして取り組んできたかを紹介。短期間のものから、長年にわたり継続しているプロジェクトまで、どれもがこれからの熊本を展望する提案にもなっている。



薬学部5年次生による実務実習中間報告会

5月17日から始まった長期実務実習 (病院2.5カ月・薬局2.5カ月) の第一期も8週目を終えた7月3日、96名の5年次生が2カ月ぶりに薬学部集まり中間報告会を行った。実習の進捗状況、感じたこと、不安に思っていること、今後の抱負などを小グループごとにディスカッションした後、全体発表した。他の施設の実習状況や同級生の様子を知り、第一期の残り4週間および第二期の実習に対するモチベーションが高まった。薬剤師として目標がさらに強くなったと思われる。



Photo Scrap※

6.5



6.12



6.16



7.3~7.4



7.29~8.5



8.7・8.22



8.9





チームメンバー

工学部・機械工学科3年次生
福森 拓弥くん
(長崎県・佐世保西高校出身)

工学部・機械工学科2年次生
井澤 和哉くん
(熊本県・御船高校出身)

鳥巢 正洋くん
(福岡県・三池工業高校出身)

平居 隼くん
(福岡県・京都高校出身)

田中 佐和さん
(福岡県・北筑高校出身)

情報学部・情報学科2年次生
川添 重和くん
(熊本県・御船高校出身)



NHK大学ロボコン2010で「崇城!ロボストロ」チームが特別賞を受賞

6月6日、国立オリンピック記念青少年総合センター(東京)で行われた「NHK大学ロボコン2010」全国大会に「崇城!ロボストロ」が、厳しい審査を経た全国19大学のチームに伍して出場。3大学で争うリーグ戦の初戦は緊張からか僅差で敗れたが第二戦では見事に勝利。決勝トーナメント進出は逃したものの奮闘が認められ、特別賞(トヨタ自動車賞)に輝いた。メンバーで唯一の3年次生(工学部・機械工学科) 福森拓弥くんも「この経験を活かし、来年は後輩たちが必ず優勝してくれるでしょう」と力強く語ってくれた。

※写真左から福森拓弥くん、川添重和くん、鳥巢正洋くん、田中佐和さん、平居隼くん、井澤和哉くん。



●ロボット研究会には学部・学科を問わず入部できます。また部員のほとんどが入部時は初心者です。興味のある方は「崇城大学ロボット研究会」のホームページをご覧ください。
<http://www.stu.sojo-u.ac.jp/robotlab/>

出場大学 (本学を含む20チーム)

崇城大学
前橋工科大学
ものづくり大学
工学院大学
東京大学
東京工業大学
東京農工大学
早稲田大学
長岡技術科学大学
金沢工業大学
信州大学
豊橋技術科学大学
名古屋工業大学
三重大学
京都工業繊維大学
大阪大学
徳島文理大学
九州大学
鹿児島大学
福岡工業大学

THE HISTORY OF A PROFESSOR

教授に歴史あり……シリーズ⑭

小学生の頃に物理学者を志し 好奇心あふれる数々の“熱中”を経て プラズマ物性工学の専門家へ

子供 の頃

小学校4年生で
物理学者を志す

●父が大学時代に朝永振一郎博士(ノーベル物理学賞受賞)の講義に心酔し、「子供ができたなら名をもらおう」と決めていたそうです。私が朝永振一郎博士の研究に興味を持ち始めたのは小学校4年生の頃。この頃から「物理学者になる」と思い込み、その思いを持ちつづけ現在に至っています。この思い込みは今も続いています。



●八王子駅にて(2才時)

高校 時代

学生紛争から音楽へ
そして物理学者の道へ

●私が通った立川高校はかつての旧制府立2中、新制2高であり、そのブランドに引き寄せられ、受験しました。学校群制度があった当時は、相方の高校は旧制19中であり、もし合格が19中なら入学しませんでした。入学後は高校では唯一の学生紛争を起こし、そのなごりを強く残す、生徒会活動に参加し、バリケード封鎖とロックアウトを繰り返した先輩等にリスペクトを感じ、学生自治への指向を深めました。しかし生徒会の合唱祭実行委員を務めたことで音楽に傾倒、レコーディング技術から作曲法、指揮法などを学び、課題曲編曲、レコード会社との交渉、レコード製作など、急速に学生紛争からは遠ざかりました。

●物理への道筋を本格的に歩むきっかけを得たのも高校時代です。それは友人の姉(後に史上最年少の九州大学教授となる)が東京大学・工学部吉川研究室(吉川教授は日本の核融合研究黎明期の先駆的研究者)の大学院生で、5月祭(東京大学の大学祭)と一緒に遊びに行き、初めてトカマク型プラズマ閉込め装置を見た時のことです。この瞬間「プラズマ・核融合研究をするぞ」と思い立ったのです(ただし現在では個人的に核融合は実現困難な研究と考えている)。

大学 時代

スキーとバイクや
クルマに熱中

●大学時代はスキー部に所属し、生活は「スキー一色」でした。大学3年次には先輩等の影響もあり、滑走日数を競い年間100日滑走を目指しました。当時のアルペンスキー技術は、日常生活運動には存在しない動作を含んでおり、如何に練習時間をとるかが、技術向上のポイントでした。また別の側面として、アルペン競技はスピード系と技術系の2つの要素を持ちますが、何れも「速い」事が絶対の条件です。これは技術体系が変わった今でも変わらない、「速さオリエンテッド」競技の宿命です。限られた時間で一刻も早くグレンデに着き、1秒でも長く滑る生活を続けていると、生活の全てがスピード競技のように見えてきます。実際、この感覚は実に危険な錯覚でもあります。学生時代には気付きようありません。結果としてスピードの出るものには何でも挑戦しました。バイクは時代を謳歌したヤマハ、カワサキの2サイクル車を乗継ぎました。自動車は上野の廃車市場にエンジンを買いに行き、地場の工場でレストア、その工場の工場長と一緒に超安の中古車として販売し、スキーの費用を捻出していました。大学院まで含めると売った車は約40台。後に妻となる女性にもランサーGSLを売りました。

現 在

研究・バイク・スキー・
オーディオに今も熱中

●プラズマを起点とした技術開発研究によって、無機・有機の新機能性材料創製、排ガス処理・環境浄化、ドライ殺菌、バイオ・ケミカルな反応による界面化学など応用は無限といって良いプラズマ技術の展開を、今後の研究課題としていきたい。

●現在でも学生時代から乗り続けている2サイクルのバイクで走っています。2サイクルの走行感はスキーの滑降感と近いところがあり、特に減速しようと思っても簡単にいかないところが好きです。所有している2台は共に現在では販売する事すら想像もつかない競技仕様で、私のスキー人生とダブリます。スキーは15年前から「青木杯」というカップ戦を主催しており、滑れる限りは前走を務めます。なお私よりタイムが遅い人は、順位をつけないことになっていますが、なかなかそうはいきません。

●オーディオは仕組みと音響の両方にこだわり、重厚長大、重く大きくこけおとしほどこめしいものが好きです。



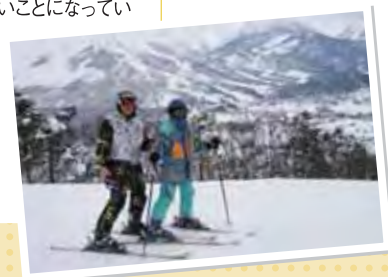
情報学部 情報学科
青木 振一 教授 博士(工学)

プロフィール●1957年、東京都生まれ(牡羊座)。東京都立立川高校から電気通信大学・電気通信学部物理工学科へ進み、筑波大学の大学院(理工学研究科・理工学専攻プラズマ実験講座)を修了。富士通デジタルテクノロジ株式会社を経て沼津工業高等専門学校 電気工学科で教壇に。専門分野はプラズマ物性工学とナノ界面科学。

学生 諸君へ

現実空間で心身を鍛え
次代を支える人物へ

●ケータイは「日本人無能化計画」遂行のウィルスのようなものです。そのミッションはコンプリートに近く、ほぼすべての若者から中高年者までが絡め取られています。サイバースペースに一端ダイブしてしまうと、ケータイを接続点にして、人は幸せ感や不安を感じるようになり、正に脳内のドーパミンやセロトニンをサイバースペースが制御する状況を作り出します。完全なダイブはリアルスペースへの帰還を極めて困難にします。サイバースペースの異性と恋愛、結婚を本気で考える人が出てきているのを目の当たりにすると、如何に危険が明らかですが、サイバースペースダイバーには、既に危険を察知する力が殆ど残ってません。真の人的交流、真の幸せや痛みを知り、真実を求めたいと思うような社会人になってもらいたいと思います。そのためには現実空間で遊び、学び、身体を鍛えることから始めてもらいたい。便利な道具を否定はしません。サイバースペースの可能性は多々ありますが、のめり込まないことが重要です。グローバリズムの波に揺られ、地球環境の激変や人口減少が止らない日本の不確実な次世代を、責任感ある姿勢で支えて欲しいと思います。



●白馬にて
(左から青木先生と次男)

卒業生直撃
interview環境・分析化学の知識を活かして
食品の塩分や酸度を分析

フンドーキン醤油株式会社 本社工場 品質管理室

●長野 彩加さん

2010年3月 工学部 ナノサイエンス学科卒業／大分県 臼杵高校出身

現在の勤務先と主な仕事の内容を教えてください

●フンドーキン醤油株式会社の本社工場（大分県）品質管理室に勤務しています。主に調味料の工程品・製品の成分分析を行っています。部署には購買品の受入検査やクレーム対応といった業務もありますが、私はまだ入社したばかりなので、まだまだこれからといった感じです。

学生時代の思い出を教えてください

●3年次生になるまでは勉強やバイト、遊びなど、いろんなことをしていました。勉強に関しては、授業でわからないことがあっても先生へ気軽に質問でき、丁寧に教えてくださったので、とても助かりました。また友人とカラオケやボーリングに行ったり、先輩を交えて阿蘇に小旅行に行ったり、楽しい思い出ばかりです。

●4年次生になると研究が生活のメインになり、悩みも絶えませんでした。しかし先生の的確なアドバイスや先輩のサポート、共に励みあった仲間のおかげで良い研究ができました。また、先輩や仲間と研究室では話せないような相談をお酒を交えて話したり(笑)、これも良い思い出のひとつです。

大学時代に学んだことが今どのように活かされていますか

●品質管理という業務に就いているため、環境・分析化学の授業を通じて得た知識が、食品の塩分や酸度を分析する際とても役立っています。



また研究室で身についた「自ら知ろう・考えよう」という姿勢が、積極的に仕事に取り組んでいける力になっています。

崇城大に学ぶ後輩たちへ
アドバイスやメッセージをお願いします

●大学の4年間は、私にとって本当に短い時間でした。皆さんも勉強を主にしつつ、遊びやバイトなど、今しか経験できないことも数多くして欲しいと思います。また進路については、不安や迷いも尽きないと思いますが、自分を信じて選択した道を進んで欲しいです。その結果、思ったとおりにならなかったとしても、必ず次へのステップアップに繋がると思います。頑張ってください。

将来の夢を教えてください

●まだ入社したばかりですが、さまざまな分野の仕事に挑戦していきたいです。そして今後、どのような業務を行うとしても、お客様の満足と商品の品質を第一に考え、地域や全国のお客様に愛される商品づくりを行っていくことが私の夢です。

卒業生直撃
interview今後もひとつずつ懸命な仕事を続け
地図に足跡を残していきたい

株式会社大本組 大阪支店 土木部

●馬場 慎太郎さん

1996年3月 工学部 土木工学科（現・エコデザイン学科）卒業／佐賀県 鹿島高校出身

現在の勤務先と主な仕事の内容を教えてください

●株式会社大本組の大阪支店・土木部に勤務しています。仕事の内容は工事現場での施工管理（現場監督）です。これまで高速道路や九州新幹線、風力発電所、下水道、宅地造成、砂防ダム等の工事に携わりました。

学生時代の思い出を教えてください

●4年間ずっと下宿生活だったのですが、先輩や同級生、後輩たちと九州のいろんな所へ遊びに行きました。今になってみると無茶苦茶な飲み会をしていたことも思い出に残っています(笑)。

大学時代に学んだことが今どのように活かされていますか

●測量をはじめ、土質やコンクリートの実習が役立ってます。特に測量に関しては、建設会社では基本のスキルであり、入社して現場に出るすぐに役立ちました。また、現場では簡単な仮設構造物等の構造計算を行うこともあり、構造力学は役立っています。

崇城大に学ぶ後輩たちへ
アドバイスやメッセージをお願いします

●真の友人をつくってください。私は大学を卒業して15年も経ちますが、当時の友人には今でも刺激をもらったり、助けられたりしています。また、たまに会って昔話をしながら飲むのもよいものです(笑)。

将来の夢を教えてください

●私の仕事は地図に残る仕事です。今後もひとつずつ懸命な仕事を続け、地図に足跡を残していきたいですね。

この本は学生の頃に読んだ短編推理小説の連作集です。著者のアイザック・アシモフはSF界の重鎮として有名ですが、一方で推理小説も数多く生み出しています。本作の舞台はニューヨークのレストラン。「黒家蜘蛛の会」とは弁護士、暗号専門家、作家、化学者、画家、数学者という各界の専門家たち6人が集うクラブであり、月1回の晩餐会には招かれたゲストから毎回、変わった「謎」が持ち込まれます。6人は素人探偵となって謎を解明しようとするのですが、いつも最後に真相を明らかにするのは、実はレストランの老給仕係のヘンリーである……というお話です。

「謎」といっても殺人事件はほとんどなく、「正体不明の大工仕事の音は何か?」とか「マフィンの秘伝のレシピ」など、日常的な問題ばかりです。この作品はいわゆる「安楽椅子探偵」ものですが、バラバラの情報を基

アイザック・アシモフ 著
池 央耿 訳
黒家蜘蛛の会「1」
(5巻まで刊行)

創元推理文庫

This is my favorite book
Series@10

紹介書籍は図書館でもクローズアップ!!

この本との出会いは金沢美術工芸大学に在学中、日展に初入選して東京へ上京した際に神田の古本屋で目につき、立ち読みしたときのこと。それは1962年、中央公論美術出版から刊行された旧カナ使いで書かれたものでしたが、夢中になって読みました。当時は本格的に画家の道に進もうと決めた頃でもあり、鮮烈に自分に入って来た印象を忘れられません。また、この村上華岳という作家の一端な思いと清心さ、革新さに驚かされ

スランプに陥ったとき
生き方について迷ったとき
私を支えてくれる一冊です

●芸術学部 美術学科／日本画家 鹿見喜昭 教授

つつ、私と同年代の頃の彼の作品と比べ、遥かに精神性も技術も劣っている自分にハッとさせられました。そして、それからが“自身の世界を描き出せるようになりたい”という目

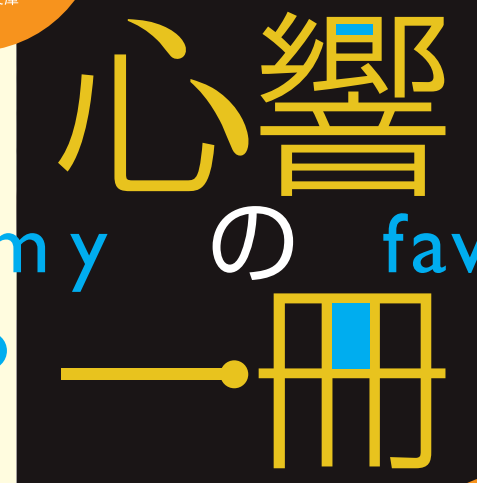


に分析・推測し解決に導くヘンリーの名探偵ぶりは、科学者にも通じるところがあると思います。メンバーに賞賛されても「私は皆様の落穂拾いをするだけでございます」と謙虚な姿勢を崩さないところも魅力的です。「科学的な真実に誠実であること」や「想像力を発揮して予測すること」、そして何より「謙虚であること」。これらは科学者の理想像にも

真実に誠実であることや
想像力を発揮した予測、
そして謙虚さは科学者の理想像

●生物生命学部 応用生命科学科／田上修 助教

当てはまる気がします。6人のウィットに富んだ会話も楽しい本作、「推理小説には興味があるけど難解な内容はちょっと……」という方にもお勧めします。



標に向かっての苦労と目標を持った喜びに
相反する日々の始まりでした。以降、必

死で制作する日々が過ぎていき、
26歳で日展の特選を受賞する
など順調な作家活動を続け、
31歳で中央公論新人展に
選抜された際、同社の方にこ
の本の話をしたら在庫を捜し
てくださり、見つかったのが写真

の一冊。今度は時間をかけてじっくり
読み、彼が理想とする作家生活と一般社会
との間で悩みながら、自分はどうあらねばなら
ないと自戒していること、宗教性と感性が同
調して昇華していく純粋さ、これらにあらため
て感動しました。以来、同書は私自身がスラ
ンプに陥ったとき、これで良いのだろうかとし
て迷ったとき、私を支えてくれるバイブル
のようになりました。最後に、彼の言葉で私
が最も感銘を受けた「制作は密室の祈りであ
る」という言葉を記します。

村上華岳 著
画論

中央公論美術出版



平成21年度決算報告

資金収支計算書 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)		(単位:千円)	
収入の部		支出の部	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
学生生徒等納付金収入	4,826,179	人件費支出	3,352,407
手数料収入	68,460	教育研究経費支出	1,126,542
寄付金収入	48,420	管理経費支出	440,049
補助金収入	799,322	借入金等利息支出	17,994
資産運用収入	205,870	借入金等返済支出	241,660
資産売却収入	15	施設関係支出	431,442
事業収入	139,055	設備関係支出	219,557
雑収入	199,920	資産運用支出	12,000
借入金等収入	0	その他の支出	180,045
前受金収入	833,085	資金支出調整勘定	△125,196
その他の収入	264,201	次年度繰越支払金	5,198,740
資金収入調整勘定	△1,054,455	支出の部合計	11,095,240
前年度繰越支払資金	4,765,168		
収入の部合計	11,095,240		

消費収支計算書 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)		(単位:千円)	
収入の部		支出の部	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
学生生徒等納付金	4,826,179	人件費	3,315,231
手数料	68,460	教育研究経費	2,003,223
寄付金	83,781	管理経費	602,656
補助金	799,322	借入金等利息	17,994
資産運用収入	205,870	資産処分差額	51,672
資産売却差額	15	徴収不能額	4,063
事業収入	139,055	消費支出の部合計	5,994,839
雑収入	199,920		
帰属収入合計	6,322,620		
基本金組入額	△409,264		
消費収入の部合計	5,913,338		

貸借対照表 (平成22年3月31日)			(単位:千円)		
資産の部			負債の部		
科 目	決 算 額		科 目	決 算 額	
固定資産	32,412,441		負債	3,485,155	
有形固定資産	27,673,771		固定負債	2,145,643	
その他の固定資産	4,738,670		流動負債	1,339,512	
流動資産	5,441,136		基本金	44,256,808	
現金預金	5,198,740		第1号基本金	43,821,808	
その他	242,396		第4号基本金	435,000	
合計	37,853,577		消費収支差額	△9,888,386	
			消費支出超過額	△9,888,386	
			合計	37,853,577	

財産目録	
I 資産総額	37,853,577,684円
内 基本財産	25,306,910,162円
運用財産	12,546,667,522円
収益事業用財産	0円
II 負債総額	3,485,155,675円
III 正味財産	34,368,422,009円

平成22年度の在籍学生数 (5月1日現在)	
工学部	1,156名
芸術学部	233名
情報学部	602名
生物生命学部	672名
薬学部	632名
計	3,295名
大学院工学研究科	142名
大学院芸術研究科	32名
計	174名



平成21年度 事業報告

施設・設備関係

- 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構による平成21年度エネルギー使用合理化事業者支援補助金補助事業に採択され空調機および照明器具を更新し省エネルギー化を図る

許認可申請関係

- 情報学部の電子情報ネットワーク学科、ソフトウェアサイエンス学科、コンピュータシステムテクノロジー学科を情報学科へ改組
- 工学部、情報学部、生物生命学部の夜間主コースを募集停止

文部科学省私立大学戦略的研究拠点形成支援事業関係

- 新規採択事業／低栄養微生物および担子菌子実体の最適培養法の開発と応用 (応用微生物工学科・松岡正佳)
- 継続事業／超領域的フィードバックによる進化型ナノサイエンス研究の拠点の構築 (ナノサイエンス学科・新海征治)

地域交流関係

- 人吉市と連携協力に関する協定を締結 (平成21年4月16日)
- 国立病院機構熊本医療センターと協力協定を締結 (平成21年6月5日)
- 熊本赤十字病院と協力協定を締結 (平成21年10月27日)
- 鳥栖駅「水あかり地方版」に協力参加 (新規)
- 山鹿市「山鹿灯籠浪漫・百華百彩」に協力参加 (継続)
- 熊本市・本妙寺「桜灯籠」に協力参加 (継続)
- 大分県臼杵市「うすき竹宵」に協力参加 (継続)

国際交流関係 (提携校との交流)

- キャリア大学 (スリランカ) へ本学から学生8名を9日間派遣し研修および交流活動を実施、同大学から本学へ学生と教員各1名が来学し展覧会を開催
- ルブリン工科大学 (ポーランド) へ本学から学生4名と教員1名を9日間派遣し研修および交流活動を実施
- 廣西師範大学 (中国) より帥民風博士 (客員教授) が来学、芸術学部授業参観・学術交流および特別講義を実施

教育関係

- CAPの変更 (履修上限56単位を48単位へ変更)
- 学部学科教育目標の明確化とシラバスへの記載を実施
- 授業時間割を半期毎の明示から年度での明示へ変更
- 総合教育未開講科目の精査と検討
- 英語教育改革の実施に向けての準備／神田外語大学と大学教育の協力に関する協定を締結し、学生会館を英語教育施設「SILC (Sojo International Learning Center)」に改修

その他

- 学園創立60周年記念事業／崇城大学シンボルロゴマークの制作および決定／式典・祝賀会の開催／崇城大学校歌CDの製作／学生が学長と話す会「21世紀の崇城大学の姿～これからの大学づくりを学長と語る」を開催／小学生を対象としたバドミントン教室&フォト講習会を開催
- 教員免許状更新講習を実施

INFORMATION

2010 同窓会総会 開催

7月10日、熊本ホテルキャッスルにおいて同窓会総会を開催しました。今年は任期満了に伴う役員改選が行われ、満場一致で承認、新会長のもと新体制がスタートしました。今後は、より多くの卒業生の方々に情報を発信し、母校と皆さんを繋いでいけるようがんばります。また総会終了後の懇親会には大学から中山学長をはじめ、恩師の先生方が多数ご出席され、総数500名を超える大同窓会を催すことができました。

懐かしい顔も多く見られ、お互いの近況を語り合い、

旧交を深めていただきました。

母校のすばらしい

発展に皆さんとても満足

の様子でした。今後も同

窓会活動にご協力ご支

援いただきますよう、よろし

くお願い致します。



崇城大学「専門学校」からのお知らせ

SOJO COLLEGE INFORMATION

願書受付が10月1日からスタート!!

願書受付期間／平成22年10月1日～平成23年3月22日

<2011年度 入試日程>

試験区分	試験科目	願書受付締切日	試験日	合格発表日	手続期限
指定校推薦試験	小論文・面接	前期	平成22年10月7日 (木)	平成22年10月 9日 (土)	平成22年10月19日 (火)
		後期	平成22年11月4日 (木)	平成22年11月 6日 (土)	平成22年11月16日 (火)
特待生試験	学科・面接		平成22年10月7日 (木)	平成22年10月 9日 (土)	平成22年10月19日 (火)
			平成22年12月9日 (木)	平成22年12月11日 (土)	平成22年12月21日 (火)
一般推薦試験*	面接		平成22年10月7日 (木)	平成22年10月 9日 (土)	平成22年10月19日 (火)
			平成22年11月4日 (木)	平成22年11月 6日 (土)	平成22年11月16日 (火)
			平成22年12月9日 (木)	平成22年12月11日 (土)	平成22年12月21日 (火)
一般入学試験	面接		平成22年10月7日 (木)	平成22年10月 9日 (土)	平成22年10月19日 (火)
			平成22年11月4日 (木)	平成22年11月 6日 (土)	平成22年11月16日 (火)
			平成22年12月9日 (木)	平成22年12月11日 (土)	平成22年12月21日 (火)

*一般推薦試験については、オープンキャンパス参加された方は、面接を免除します。

※願書受付は9時から16時まで(土曜・日曜・祝日を除く)

3月までオープンキャンパス実施中。詳細はホームページで!!

崇城大学 専門学校

〒860-0806 熊本市花畑町10番25号 TEL.096-323-1122

URL : <http://www.sojo-c.ac.jp/> E-mail : info@sojo-c.ac.jp